


「働き方改革によるCO2削減効果」簡易算定ツール

この簡易算定ツールは、テレワークや長時間労働削減の取組によるCO2削減効果を簡易に算定するため作成したものです。【CO2削減につながる取組メニュー】と【CO2削減効果のまとめ】からなっており、

- ・【CO2削減につながる取組メニュー】には、実際に取り組む内容を記入することで、取組の効果を見える化します。
- ・【CO2削減効果のまとめ】では、取組メニューに入力した数値から、削減効果が自動的に算出されます。

年度ごとに取組内容を入力していくことで、CO2削減効果の経年変化を見える化し、働き方改革によるCO2削減効果を検証することが可能です。

働き方改革 簡易算定ツール  **で検索!**

取組メニュー

本ツールで取り上げたCO2削減につながる取組メニューは以下のとおりです。

1. 通勤方法を変更する（車通勤から鉄道通勤に変える など）
2. テレワーク・自宅作業を実施する
3. 残業時間を減らす
4. オフィスでできる取組にチャレンジする
 - 4-1. 冷暖房を適切な温度設定にする（クールビズ、ウォームビズ）
 - 4-2. 照明を間引きする、LEDに交換する
 - 4-3. 給湯器の使用をやめる
 - 4-4. 飲料自販機（缶・ボトル）の利用を抑える
 - 4-5. エレベーターの使用を抑える
 - 4-6. ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）実現に向けて、窓を断熱する



入力の手順など

【CO2削減につながる取組メニュー】

- ・ 予め年度ごとに算定ツールシートを設けています。
 - ・ 初期設定として、算定ツールシートの名称は、「簡易算定_年度1～6」としています。シートの名称を取組年度に変更してください。例) 2017年度
 - ・ 取組を行った当該年度ごとに算定ツールシートを使用、作成してください。
 - ・ 「原本」は、算定ツールシートの原本です。必要な場合は、原本をコピーして使用してください。
 - ・ 算定ツールシートの記入例として、「記入例」シートがあります。必要な場合は、参照してください。
 - ・ 入力欄、自動算出されたCO2削減効果等の小数点以下の表示桁数は、適宜調整してください。
1. 【会社概要】及び【前年度 年間CO2排出量及び年間総労働時間】の欄は必ず入力してください。
 - ・ 「簡易算定_年度1」の【前年度 年間CO2排出量及び年間総労働時間】に入力したCO2排出量等が基準年度のデータとなります。
 - ・ 「簡易算定_年度2～6」の【前年度 年間CO2排出量及び年間総労働時間】は、前年度の算定ツールシートに入力した数値及び算定結果が自動的に反映されますので、改めて入力する必要はありません。
 2. 【CO2削減につながる取組メニュー】では、該当する取組内容のみ、記載されている入力方法等の注意事項を参照しながら水色のセルに数値を入力またはプルダウンから適当な数値を選択してください。
水色のセル ←取組の各項目のうち、左記のように水色で標記されているセルに該当する数値を入力又は選択してください。 *水色以外のセルは、自動的に数値が算出されます。
 3. 水色のセルに数値を入力又は選択すると、削減効果等が自動的に数値として算出されます。
 4. シート内で行、列の挿入や削除をすると、セルに設定している計算式等がずれることがありますので、行等を挿入・削除する場合は、ご注意ください。

【CO2削減効果のまとめ】

- ・ 本簡易算定ツールには、「取りまとめ・グラフ」のシートを設置しています。
- ・ 年度ごとに簡易算定ツールのシートを作成することで、自動的に数値が反映され、経年変化がグラフ化されます。
- ・ 取組ごとの経年変化を確認することで、次年度の取組などに役立てることができます。

※本ツールは相当の仮定を置いた上で削減効果を算定するものです。

実際には取組内容のケースごとに異なりますので、本ツールによる削減効果を保証するものではありません。

算定ツールの活用でわかること

【CO2削減につながる取組メニュー】

- ・自分たちでやってみよう！という取組内容を入力してみてください。
- ・オフィス、事業場など、状況に応じて何ができるかを検討し、認識を共有することが大切です。

水色のセルに必要な事項や取組内容（任意）を記入してください

「働き方改革によるCO2削減効果」簡易算定ツール

【会社概要】

会社名	株式会社A食品製造	従業員数(人)	40	売上高(万円)	39,900
事業内容	〇〇向けの軽食、惣菜の製造及び開発と、各店舗仕分け、集配センターへの納品				
住所	東京都三鷹市〇〇町1-43				

取組前年度の売上高を入力してください。

【前年度 年間CO2排出量及び年間総労働時間】

年間CO2排出量(kg-CO2)	
オフィス①-1	5
工場・事業所等②-2	24
合計③-3	30

※オフィスでのCO2排出量、冷暖房、照明
※工場・事業所等でのCO2排出量、冷熱
※購入電力の二酸化炭素排出係数
※化石燃料の二酸化炭素排出係数

取組年度 2018年度 西暦の年度を数字のみ入力してください。

【CO2削減につながる取組メニュー】

1. 通勤方法を変更する

【各通勤手段におけるCO2排出量(kg-CO2/人)】

1人あたり1km通勤に排出されるCO2(kg-CO2/人)	
鉄道	0.020
バス	0.066
車	0.145
徒歩又は自転車	0

(参考:国土交通省)

全社の年間平均通勤日数(日) 224
水色部分に日数を入力してください。

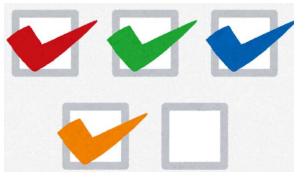
1-1 車通勤から、鉄道に変える

水色部分にそれぞれの移動距離を入力してください。排出するCO2が算出されます。

社員名	車で移動する距離 (km)	車によるCO2排出量 (kg-CO2)	鉄道で移動する距離 (km)	鉄道によるCO2排出量 (kg-CO2)	車通勤から、鉄道に変更したことによるCO2排出削減量(kg-CO2)
社員A	10	1.5	10	0.2	1.3
社員B	15	2.2	15	0.3	1.9
社員C	13	1.9	13	0.3	1.6
		0.0		0.0	0.0
1-1 合計				4.8	

1-2 車通勤から、バスに変える

水色部分にそれぞれの移動距離を入力してください。排出するCO2が算出されます。



取組内容に応じたCO2削減量が算出されます

これならできそうです！



これをやってみましょう！

この調子！

【CO2削減効果のまとめ】

- ・複数年度について簡易算定ツールのシートを作成すると、経年変化がグラフ化されます。（下記はイメージです。）
- ・CO2排出1kg当たりの売上高（炭素生産性）や労働1時間当たりの売上高（労働生産性）の推移が見える化されますので、取組を継続的に実施する際の判断材料となります。

